

若年性認知症当事者と支援者による意見交換会を開催しました！



7月5日、さくらんぼカフェで、仙台市在住の若年性認知症当事者の丹野智文さんと認知症の人と家族の会宮城県支部の若生栄子さんをお迎えし、山形県からは、若年性認知症のご本人とご家族、市町村の認知症地域支援推進員ほか支援者が集まり、「若年性認知症の人が地域に求める支援」をテーマに意見交換会を開催しました。

丹野智文さんは、2013年、39歳の時にアルツハイマー認知症と診断されました。診断後も自動車販売の営業職から事務職に異動し、会社の理解のもと仕事を続けられるかたわら、日本認知症ワーキンググループのメンバーとして昨年は安倍首相と認知症施策について意見交換をするなど全国を舞台に活躍されています。

県内から参加されたご家族は、「本人には医師を始め会社の人や色々な人がサポートしてくれるが、家族

も一緒に誰かに見てもらいたい。医師は患者を診るのが専門。じゃあ家族は誰がみてくれるのか。」という話に対し、丹野さんからは「家族も自分の思いを伝えたほうがいい。家族会などで同じ境遇の人と話すと、気が楽になる。」とアドバイスをいただきました。

ご本人は、「自分でできることは極力自分でやりたい。会社の理解のもと仕事を続けられている、自分のできることを毎日少しずつやっている。これからも仕事を続けたい。」と思いを述べられました。また、支援者から丹野さんに対してどんな支援を求めるか質問したところ、「重度になる前の初期の段階での関わり、情報の提供が必要。診断直後から利用できる“認知症ケアパス”が必要」と意見を述べられました。

「号外」に詳細を掲載します！

さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

若年性認知症支援コーディネーターを配置しました！

若年性認知症支援コーディネーターは、新オレンジプランに基づき、今年度から厚生労働省が全都道府県への配置を目指す、若年性認知症の方の自立支援のためのネットワークの調整役を担う担当者です。山形県では、認知症の人と家族の会山形県支部に業務委託し、草苺さえ子さんが担当することになりました。草苺さんは、6月に開催された全国研修を受講し、業務を本格的に行っていきます。若年性認知症の方の自立支援や居場所づくり、社会参加等のお手伝いをいたします。ご相談のある方はさくらんぼカフェまでご連絡下さい。 ■ 問合せ: さくらんぼカフェ ☎023-687-0387(平日 昼12時～午後4時)



オレンジカフェ ー南陽市ー

南陽市のオレンジカフェは、平成25年に南陽市地域包括支援センターの協力を得ながら、市内小規模多機能連絡会で立ち上げし、認知症疾患医療センター、小規模多機能型居宅介護事業所3か所で相談、連携、協力しながら作りあげてきました。

複数の機関が関わっていることで、介護相談があった時の連携が取りやすく、医療・介護サービスへ繋げる事ができる、ということが自慢です。

ひとつのカフェだけでなく、いろんなカフェを回って、

医療や介護相談、お茶のみ、趣味活動と幅広い内容を楽しむことができます。

一人暮らしの参加者の方からは、カフェを通じた出会いから、友人となり、引きこもり、認知症予防となっているとお聞きしています。

悩みとしては、PR方法についてです。南陽市地域包括支援センター、各事業所でのPR、民生委員さんへの説明会や市民向けに市報や回覧板等を活用しています。

■ 問合せ：南陽市地域包括支援センター

☎ 0238-40-3211(内線284)



■基本データ

第1木曜日 午後1:30~3:00	佐藤病院認知症疾患医療センター内 南陽市柵塚948-1 Tel 0238-43-6040 (担当 上村)	認知症に関する情報提供を行います
第2木曜日 午後1:30~3:00	ケアセンターとこしえ二色根 南陽市二色根73 Tel 0238-50-1420 (担当 戸田)	調理や趣味活動、 体操等と一緒にしましょう~リフレッシュ!
第3木曜日 午後1:30~3:00	グランデージあすなろ川樋 南陽市新田577 Tel 0238-43-5566 (担当 落合堂)	見晴しのよいベランダでオープンカフェ。隠された絶景ポイント!
第4木曜日 午後1:30~3:00	ござっとこ家 南陽市宮内2383-5 Tel 0238-59-1255 (担当 菅野)	手作りおやつと笑顔あふれるスタッフが お出迎え

人と人とのつながりを大切にしたい！

東根市認知症地域支援推進員(介護福祉士・介護支援専門員)
東根市地域包括支援センター

加藤 路子(かとうみちこ)さん ー東根市ー



東根市では、平成27年度から東根市地域包括支援センターに認知症地域支援推進員が配置となりました。「認知症になってもやさしい東根市」をめざし、認知症の方や家族の方の身近な存在になれる支援員になりたいと思い、さまざまな方とのつながりを大切にしながら日々活動しております。誰にでもやさしい地域づくりの第一歩として、認知症の方の気持ちを理解するために、地域の方や子供達などに認知症サポーター養成講座の開催や、地域の方へ認知症のお話をさせて頂いております。

認知症を地域の“問題”として捉えるのではなく、家族と共にどう支えていくか前向きに考えられる地域になっていければいいなと考えております。

これまでの活動として、まずは地域の実態や地域の思いを知るため、認知症のアンケートを実施しました。今後東根市にはどのようなものが必要なのかを検討し、今後も地域の方との関わりを多く持ち、認知症の方に関わらずみんなにやさしい地域づくりをしていきたいと思っております。

(編集部より)7月号は、爽やかな笑顔の東根市認知症地域支援推進員の加藤路子さんです。東根市でただ一人の認知症地域支援推進員さんとして、みなさんの声に耳を傾けながら、やさしい地域づくりをめざして活動しています。次回は、加藤さんから紹介された、山形市南部の認知症地域支援推進員の岡本知子さんです。

めざせ！カフェマスター

認知症カフェを極めたいあなたに、ママ知識を紹介します。

認知症カフェを始める時に考えること

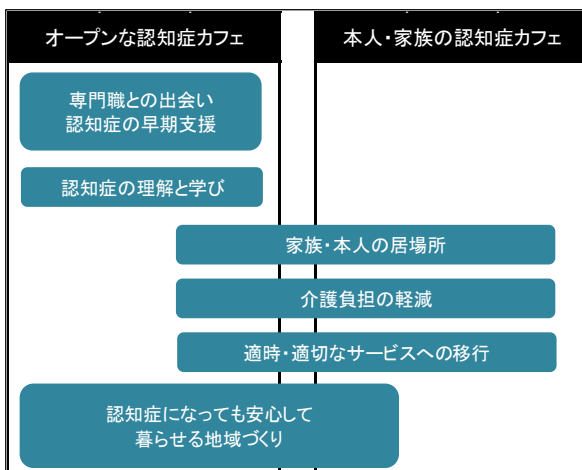
認知症カフェには、特に決まった運営の仕方や開設場所があるわけではなく、認知症の方や家族、専門職、地域住民の「つどいの場」、認知症の方や家族の「居場所」としての機能そのものをいいます。よく、「誰がどのようにして開設できるの?」と聞かれますが、法令等で決まったルールがあるわけではなく、各市町村や地域包括支援センター、病院や介護事業所、町内会や個人の有志など、地域に応じて多様な主体によって開設・運営されています。活動内容も様々で、専門職による認知症に関する相談会や健康チェック、認知症予防のための体操をしていたりと、それぞれ特徴がありますが、お茶を飲みながら認知症の方や家族、地域住民等が交流、情報交換したり、専門職に相談したりといったスタイルが一般的です。

このように、認知症カフェは特に決まったやり方があるわけではないものの、カフェを開設し、それを継続させるためには、

予め、地域の特性やニーズにあった認知症カフェのやり方、つまり、対象者や目的を明確にする必要があります。

認知症介護研究・研修仙台センターの研究によると、カフェの目的から、誰もが参加でき、認知症について学ぶことができる『オープンな認知症カフェ』と、認知症の人と家族の当事者が参加し活動する『本人・家族の認知症カフェ』に分類されるとあります。(図参照)これからカフェを開設される方は、まずは対象者・目的・効果を考えて、企画するとよいでしょう。

引用文献:矢吹智之著『認知症カフェ読本 知りたいことがわかるQ&A実践事例』、中央法規出版、2016年



新規オープンカフェ

グリーンカフェ(酒田市)

- 日時:7月16日(土)10:00~12:00
※毎月第3土曜日10:00~12:00開催予定
※カフェボランティアスタッフ募集中
- 場所:山容病院内 カフェテラス(酒田市浜松町1-7)
- 参加費:100円
- 問合せ:山容病院 ☎0234-33-3355

オレンジカフェ(山形市)

- 日時:11:00~15:00(定休日 土曜日)
- 場所:オレンジカフェ(山形市幸町6-9)
- 参加費:実費(飲食代…要相談)
- 問合せ:野口 ☎023-615-2085

朝日町認知症カフェ「ほっとカフェ」(朝日町)

- 日時:7月19日(火)10:00~11:30
※毎月第3火曜日10:00~11:30開催予定
※ほかほかサロンと共催
- 場所:開発センター(朝日町大字宮宿 1115 番地)
- 参加費:300円
- 問合せ:朝日町健康福祉課 ☎0237-67-2156

イベント情報

とかみふれあいセンター第18回うたごえ喫茶(山形市)

- 日時:8月20日(土)13:30~15:00
- 場所:とかみふれあいセンター(山形市富神前6番地)
- 参加費:600円
- 問合せ:とかみふれあいセンター ☎023-647-5262

知って得する認知症講座(山形市)

- 演題:『認知症予防と優しい素敵な対応』60分程度
- 日時:8月6日(土)13:30~
- 場所:南沼原コミュニティセンター(山形市南館西 19-11)
- 対象者:南沼原地区一般住民
- 問合せ:南沼原地区社会福祉協議会 ☎023-645-3476(齋藤)

あい♥らぶ末広(山形市)

山形市末広地区住民の交流の場として、認知症の方をはじめ子どもから高齢者までを対象にした交流イベントです。今回は山形西高校の生徒さんによるお茶のおもてなし等各部活の発表があります。

- 日時:7月30日(土):9:00~12:00
- 場所:末広集会所・末広公園(山形市末広町7)
- 対象者:末広地区一般住民
- 問合せ:地域包括支援センターふれあい ☎023-628-3988

認知症施策推進協力員の藤井が皆さまのモヤモヤを解決するコーナー

認知症サポーターの証、オレンジリングはなぜオレンジなの？



藤井がゆく

認知症施策推進総合戦略を『新オレンジプラン』といいます。また、認知症サポーター養成講座を受講すると、オレンジ色のリングをもらいますが、なぜオレンジ色が認知症に関わるシンボルカラーなのでしょう？

キャラバン・メイト養成テキストによると、江戸時代の陶工・酒井田柿右衛門の赤絵陶器の『柿色』に由来しているそうです。酒井田柿右衛門が夕日に映える柿の実の色からインスピレーションを得て作りだした赤絵の磁器が、世界的に名声を誇ったように、“日本発”の『認知症サポーターキャラバン』のオレンジリングが、世界のいたるところで『認知症サポーター』の証として認められればとの思いからつくられたそうです。なお、温かさを感じさせるこの色は、『手助けします』という意味も持つそうです。

オレンジリングは、オレンジ(みかん)色ではなくパーシモン(柿)色だったんですね。

発行元

山形県認知症相談・交流拠点
さくらんぼカフェ
TEL023-687-0387
FAX023-687-0397
皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。

編集後記

さくらんぼカフェは、多くの方々に支えられ1周年を迎えることができました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。これからも認知症の本人、その家族、医療や福祉などの専門の方、またカフェを手伝っているみなさんや地域の方々が交流できる場となればと思います。(さえ子)